

問い合わせ先
第二管区海上保安本部
海洋情報部海洋調査課長（道順）
TEL 022-363-0111（内線 2530）

平成16年6月17日
午前10時00分発表

対馬暖流（入道埼沖合）の蛇行確認

第二管区海上保安本部では、毎年、巡視船を使用して日本海北部（山形県から秋田県にかけての沖合いの海域）の海流観測を実施しています。

今年度は、平成16年6月10日～6月12日に秋田海上保安部所属巡視船「ちようかい」（船長：中尾洋一）により海流観測を実施しました。

観測項目は、演算装置付音波ログによる海流の観測及び投下式水深水温計による鉛直水温の観測です。

対馬暖流の流路について、「二管区海洋速報 第9号」（観測期間H16.5.14～5.27）と比べると、日本海側の岸線に沿ってほぼ平行に流れていた対馬暖流が、今回の観測結果から、海流図のとおり入道埼西方の海域で大きく蛇行しているのが判明しました。

これは、100m層水温分布図で、佐渡島北方の暖水域が北西方向に張り出したことにより、冷水域の差し込む幅が狭くなり、表層水温分布図もこれに添った分布となっているため、表面水温分布図で17～18の等温線に沿って流れているためです。

なお、観測結果は「二管区海洋速報 第11号」としてホームページに掲載していません。

ホームページアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/index.html>

演算装置付音波ログ：音波のドップラー効果を利用して海洋の海流を測定する機器

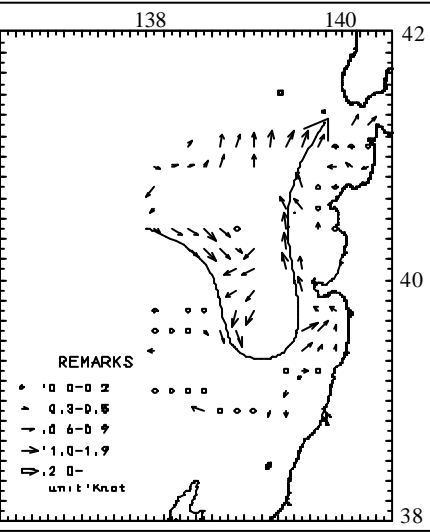
投下式水深水温計：船上から水温センサー付の錘を投下することにより水温の鉛直分布を測定・記録する機器

冷水域：100m層水温で6以下の水域

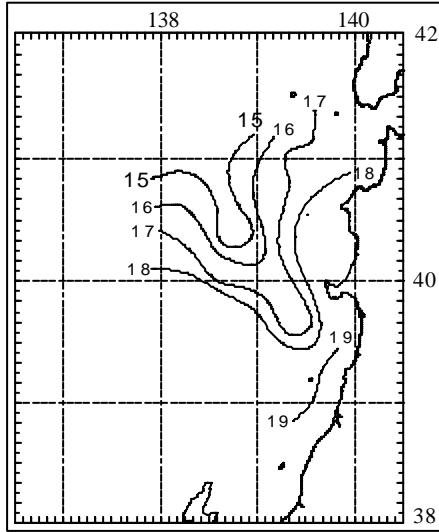
暖水域：水温図で周囲より高い水域

差し込み：冷水域が舌状に突出している現象

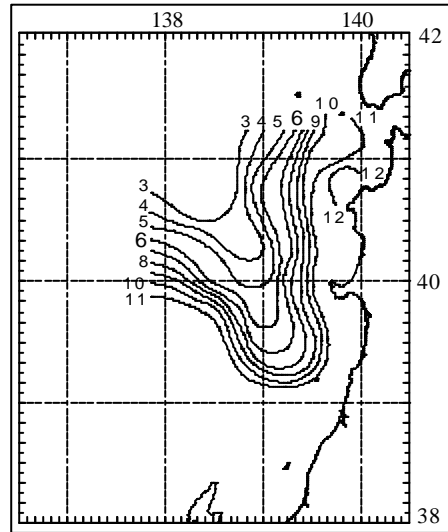
海流図



表面水温分布図

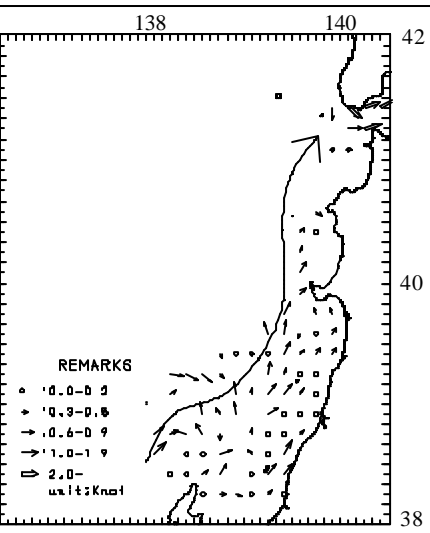


100m層水温分布図

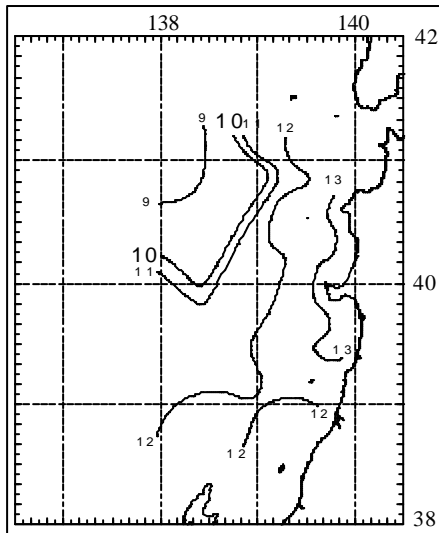


「二管区海洋速報 第9号」 (観測期間 H16.4.23 ~ 5.13)

海流図



表面水温分布図



100m層水温分布図

